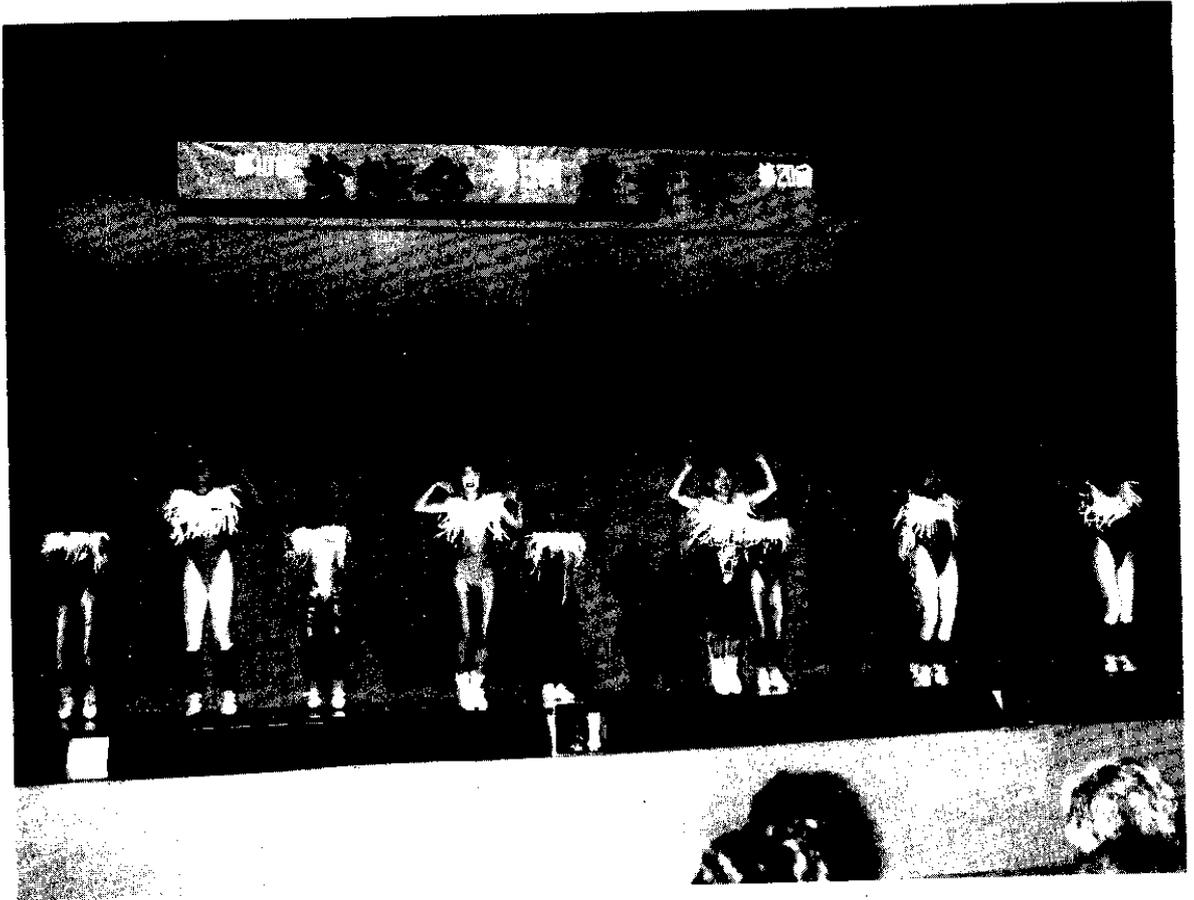


広報
まつのやま

199011月号 (No.177)



収穫の秋・スポーツの秋・
芸術の秋
秋は色々な面で
最も充実した季節のようです。
10月は
行事がたくさんありました。
みんなで走った健康マラソン。
レオタード姿に
ちよつと驚かされた芸能祭。
松之山にも都会の風が
少くし吹いて来たかな？



二千人以上の人で賑わった

農業祭・芸能祭・美術展



即売開始と同時にどっと押し寄せる人また人。
「人気の野菜はすぐに売り切れました」と担当者

第九回の町農業祭・芸能祭が十月二十八日の日曜日に盛大に開催され、町内は勿論の事、ふるさと会員の方たちなど二千人以上の方が集まりました。

この日はやや薄曇りの少し肌寒い天候でしたが、会場となった自然休養村センター・町民体育館には朝早くから人があり、野菜の即売場前には長い行列が出来るほどでした。

午前九時より各種即売・芸能祭・各展示場が一齐にオープンまたは開幕し、農業祭が始まりました。

最初に賑わうのが野菜の展示即売場。売り出し開始と同時にどっと押し寄せ、レンコン・シヨウガ・ネギ・自然芋など、お目当ての野菜を探し求める人たちでごったがえしていました。今年は比較的量



キノコ、山菜の塩漬け、手練鉢などの特産品売場も盛況

が豊富だったので、皆さん思いの野菜を買い求める事が出来たのではないのでしょうか。

センター前の広場では、きのこや手練鉢などの特産品販売が行われたり、子供たちに人気のポン菓子が無料で配られたほか、農協S.Sが除雪機やトラクターなどを展示販売

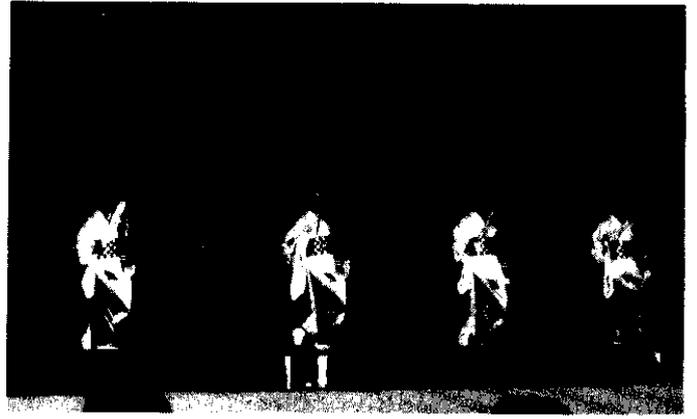
しておりました。

また、町青年団やサークル「わっさあば」の皆さんが、焼きトウモロコシや石焼きいもを売ったり、農協さんが「くびき牛肉」を売るなど、まさに食欲の秋にふさわしい臭いを、辺りに漂わせていました。

毎年来ていただいた皆さん



木村律子先生が企画したハッピーワールド展世界の色々な物が展示されています



ステージでは一日中、歌や踊り、演劇などが披露され、大きな拍手が贈られました



食推コーナーの野菜パン、いかがでしたか？



センター2階では町美術展が開かれ、多くの方が見学に訪れていました



ポン菓子をもらおうと長い行列もできました

に無料で試食願って好評を得ている「おにぎり」、手打ちそば「モチ」は、今年も一七三〇人分用意されましたが、比較的早い時間に全部無くなり、試食券をもらえない人も出るほどでした。町産業課ではコシヒカリと雪の精の食味を試してもらおうと、今回おにぎりを一個ずつ分けて握り、その感想をアンケートに記入し

ていただきました。おにぎりを食べられた皆さん、いかがでしたか？このアンケートの結果は今後の米づくり推進の貴重な参考になると思います。体育館の中で行われた芸能祭では、町内の芸達者の皆さんが日頃の芸を披露、会場から盛んな拍手を受けていました。今年、特に注目されたのが、婦人会の皆さんを中心として賑やかに踊られたエアロビクスダンスと、松里小学校児童による「管領塚物語」の劇でした。松里小学校の皆さんの劇は、翌日の町内小・中学校芸能発表会でも披露され、皆さんから鑑賞してもらいました。

前日より開催された「町美術展」にも多くの出品があり、農業祭に来た大勢の方がここを訪れ、見学していました。また、食推コーナーの野菜パン・木村律子先生企画のハッピーワールド展にも多くの方が立ち寄り、試食・見学をしていました。新しい企画や披露が加わり、一段とおもしろかった今年の農業祭でした。



最優秀賞となった相沢さん

第7回松之山町良質米生産推進共励会

入賞順位	出品者		品 種 名	10a 当たり 精玄米収量	10a 当たり 米 代 金
	住 所	氏 名			
最優秀賞	松之山	相沢 一郎	コシヒカリ	702kg	284,851円
優 秀 賞	湯 山	樋口 芳平	"	675	273,895
"	天水越	佐藤 良雄	"	667	270,649
"	小 谷	和久井 豊治	"	657	266,591
"	橋 詰	村山 光義	"	653	264,968
優 良 賞	兔 口	滝沢 繁	"	646	262,127
"	湯 山	樋口 シゲ	"	646	262,127
"	五十子平	涌井 正三	"	641	260,099
"	松之山	村山 師郎	"	626	254,012
"	湯之島	山口 孝治	"	626	254,012
"	兔 口	樋口 藤夫	"	624	253,200
"	曾 根	丸山 正昭	"	620	251,577
"	水 梨	中島 忠信	"	618	250,766
"	東 川	丸山 嘉幸	"	616	249,954
"	田立立	石塚 昭	"	609	247,114
"	新 田	田 辺 馨	"	606	245,897
"	上之山	畔上 達雄	"	605	245,491
"	月 池	佐藤 新一郎	"	600	243,462
奨 励 賞	天水島	小野塚 英男	"	595	241,433
"	湯 山	高沢 実	"	593	240,622
"	天水越	佐藤 久夫	"	593	240,622
"	湯之島	山口 清治	"	593	240,622
"	水 梨	相沢 良三	"	592	240,216
"	湯之島	竹内 多作	"	587	238,187
"	坂 中	竹内 清	"	587	238,187
"	藤 倉	若月 三太郎	"	586	237,781
"	西之前	南雲 力蔵	"	584	236,970
"	下鰻池	重野 雄城	"	580	235,347
"	中 尾	高橋 ミチ	"	579	234,941
"	東 川	小野塚 文雄	"	575	233,318
"	光 間	小野塚 敏夫	"	571	231,695

七〇二キロの大記録も生まれた

第七回良質米生産推進共励会

最優秀賞 相沢一郎さん(松之山)

今年で七回目を迎えた「松之山町良質米生産推進共励会」の、入賞者の表彰が二十八日、芸能祭の途中で行われ、最優秀賞一人、優秀賞四人、優良賞十三人、奨励賞十三人の合計三十一人が表彰されました。今年の方参加、春から丹精

こめて稲づくりを行い、少しでも多くの収量と努力され、この日の共励会に臨みました。今年最優秀賞を受賞されたのは相沢一郎さん(松之山・林)で、十アール当りコシヒカリ七〇二キロ、精玄米代金で二八万四、八五一円という驚異的な収量を記録しました。この収量は、一反歩当り約十二俵という県下でも珍らしい大記録で、堂々の最優秀賞

受賞となりました。おめでとうございます。今年には植えつけから天候に恵まれ、水管理のきちんとして来た所では例年になく収量があつたようで、特に、標高の高い所ほど豊作だつたという事です。昨年は兔口の樋口藤夫さんが、コシヒカリ六五七キロで最優秀となられたのですが、今年その記録を上回つた方が三人おり、いかに豊作

型の天候だつたかが伺えます。また、品種の面では昨年より米代金の部一本に絞られた事もあり、五十六点の内五十三点がコシヒカリと、圧倒的に多くなりました。年々記録が向上するこの共励会、減反・米価引き下げと暗い部分だけが目につく稲作農業ですが、一つの明るい話題として、今後も取り組んでほしいと思います。

「伝えていきたい」

わが家の味と香り」展



いつ行っても賑わっていた「わが家の味と香り」コーナー。試食も楽しみです。

毎回、大変な人気を得ている「わが家の味と香り」コーナーに、今年も町内の婦人たちから四十六点の出品がありました。
農業祭に来られた婦人の皆さんが興味深そうにこのコーナーを訪れ、試食したり作り方を熱心に読んでいる姿が見られました。また、試食の皿がすぐに無くなってしまいうほど盛況で、いつも大勢の人でごったがえしていました。もう少し広い会場があれば、ゆっくり見学できるので、毎回のようには思います。

出品された作品は普及所の方と町でお願いした役員で審査を行い、「伝えていきたいわが家の味と香り」という主旨を尊重しながら、優秀賞五

点と奨励賞五点を選び、表彰しました。

受賞された方は次の皆さんです。

▽優秀賞（五点）

和久井トシさん（小谷）

「しようゆの実」

村山留美子さん（藤内名）

「和えなます」

高橋玲子さん（天水島）

「揚げごはんのおやつ」

福原サヲさん（坪野）

「山かんぴょうの白あえ」

丸山ツマさん（上之山）

「にしんのみそ」

▽奨励賞

相沢雪枝さん（松之山）

「あべ川いも」

相沢タツさん（松之山）

「かぼちゃのケーキ」

高橋八重子さん（天水島）

「一口アツプルパイ」

関根京子さん（藤倉）

「煮なます」

石塚ハルさん（田麦立）

「キャラブキ」

泳ぐ宝石

第二回 錦鯉品評会

町内の錦鯉愛好者十五名が自慢の鯉を持ちよつての「錦鯉品評会」が、農業祭前日の二十七日に行われ、九十六匹の鮮やかな錦鯉が出品されました。

出品された鯉は大きさ別に五部門に分けられ、その中で

さらに紅白・三色・その他に分けて審査が行われました。見ていると大変美しい鯉ですが、飼育と管理が難かしいという事で、養魚家が増えないのが残念だという事です。

今回、大変大きな黒鯉も出品され、農業祭に来られた方たちを驚かせていました。入賞者は次のようになりました。

▽総合優勝 「紅白」
久保田寿栄さん（曾根）

▽総合準優勝 「紅白」
樋口幸雄さん（湯山）

▽各部優勝

一部（一八センチ未満）
樋口幸雄さん「紅白」

二部（二八センチ未満）
高橋平八郎さん「紅白」

三部（三五センチ未満）
小野塚順作さん「紅白」

四部（四五センチ未満）
高橋平八郎さん「紅白」

五部（四五センチ未満）
樋口ヨシさん「紅白」



第九回町駅伝大会

松里Aチーム、またまた大差で

連続優勝

九回目を迎えた町駅伝大会が十月十日の体育の日に行われ、各地区代表の七チームが健脚を競いました。

この日は朝方まで雨が降る少し肌寒い天気でしたが、午前九時に浦田中学校前をスタートする頃には薄日も差す絶好の駅伝日和となり、選手の皆様も天候を気にせず十分競技に専念できたと思います。

コースは、藤倉・中坪間の道路改良工事が終了した事により二区間延長されて十四区間となり、数年ぶりで全地区を通るコースが復活しました。

競技の方は午前九時、一区の中学生男子の七人が浦田中学校前を元気にスタート、布川チームが一歩リードして三区中継点へ。この辺から実力を発揮しはじめたのが過去八

連覇している松里Aチーム。

三区でトップに立つとそのまま安定した走り続け、最終リードを守って二位布川チームに三分半の大差をつけてゴールしました。選手層の厚さが物をいったようです。

さて興味は二位争いに移ったのですが、松之山Aチームと布川・浦田Aチームの三チームが十二区(藤倉・中坪)

で並び、そこで抜き出た布川チームが二位・三位は浦田Aチーム、そして松之山Aチームは、ここでの遅れが響いて松里Bチームにも越されてしまい、五位となつてしまいました。以下、六位浦田Bチーム、七位松之山Bチームの順位でした。

駅伝はチームの全員が一致団結し、自分の実力をいかに発揮するかが、チームの成績につながる競技です。苦しい反面、おもしろみも充分味わえるこの駅伝、来年に向けて体力づくりにも励みましょう。

駅伝大会結果

▽総合成績

優勝	準優勝	3位	4位	5位	6位	7位
松里Aチーム	布川チーム	浦田Aチーム	松里Bチーム	松之山Aチーム	浦田Bチーム	松之山Bチーム
1:32:23	1:35:52	1:37:55	1:40:51	1:41:08	1:42:48	1:47:49

▽区間賞

1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区	13区	14区
鈴木昭男(布川)	福原 晃(松里A)	高橋秀樹(松里A)	高橋政信(松里A)	小野塚真紀(布川)	滝沢 大(松里A)	本山 久(浦田A)	高橋千春(松之山A)	高橋真也(松里A)	高橋理恵(松里A)	村山 亮(松里A)	村山幸夫(布川)	久保田信秀(浦田A)	小野塚尚未(布川)
7:19	7:32	6:56	7:05	4:26	4:04	2:57	5:36	8:10	4:08	7:47	8:11	8:55	7:00



中学生男子が浦田中学校前を元気にスタート!



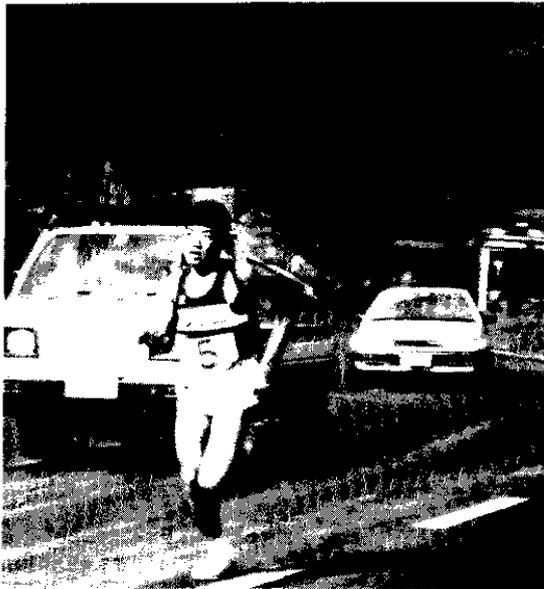
「頼むぞ」親から子へのタスキリレー
松里Bチーム小野塚英男さんと長男英之君



松里Aチームアンカー佐藤麻紀さんが
余裕を見せてトップでゴールイン!

松之山の選手が各種駅伝大会で大活躍!

県女子駅伝・県縦断郡市対抗駅伝・県高校駅伝
 11位 7位 3位



(写真は本文と関係ありません)
 町駅伝大会より

今、スポーツの秋といふことと色々なスポーツ大会が各地で開催されており。特に陸上競技、駅伝大会は毎週どこかで大会が行われていると言つて良いほど、人気のある競技です。

十月十四日には「第八回新潟県女子駅伝」が、新潟市陸上競技場周辺コースで行われ、東頸城郡チームが二十七チーム中、十一位と活躍しました。昨年は二十位以下という成績でしたので、大健闘といえます。この大会には松之山町か村山知子さん(松之山角田屋)と竹内雅子さん(豊田どろの

木)の二名が出場、成績アップに大きく貢献してくれました。この大会の優勝は新潟市チームでした。

また、十月二十・二十一日の二日間に行われ開催された「第四十三回県縦断郡市対抗駅伝競争大会」(新潟市・新潟市)でも、東頸城チームが大活躍。昨年の二十二位から一気に七位に大躍進し、注目を集めました。

この大会でも松之山町から出場した三選手が大健闘し、チームの中心となって頑張ってくれました。中でも相沢義和さん(下鯉池・東海大学)

は、初日の五区と二日目の九区を走り、両区間とも一位という素晴らしい活躍でした。また、高校生の福原基裕君(湯本・十一屋)、浦田中学校教員の小林辰男先生も、一区と二区で大変素晴らしい成績をあげ、長い距離を走る選手が不足みだった東頸城チームにとって、力強いランナーの出現となりました。

十月二十七日、新発田市の公認マラソンコースを使って行われた第四十一回県高校駅伝大会で、安塚高校が三位に入賞し、北信越大会への出場権を獲得しました。

安塚高校チームは昨年この大会で優勝し、京都で行われた全国高校駅伝大会に出場したのですが、今年は今一歩及ばず大変残念でした。

この県大会には松之山から福原基裕君(安塚本校三年)と久保田信秀君(新田・安兵衛)三年、福原政俊君(坪野・西山)二年の三人が出場、三位入賞に大きく貢献しました。北信越大会でも頑張ってください。

採用された
 「国の進学ローン」

さて、今年も受験シーズンが近くなって来ましたが、年々、保護者の方々の負担も増加し、大学進学のための経費は二〇〇万円前後といわれています。

これらの負担を少しでも軽減するため国民金融公庫では「国の進学ローン」を取り扱っております。

融資額は一進学者あたり百万円以内となっておりますので、ご利用いただきたいと思います。

詳しい内容は、国民金融公庫高田支店 電話〇二五五二四―二三四〇番にお気軽にご相談ください。



第9回

郡美術展

絵画・書道の部で郡展賞



絵画で郡展賞となった草村慶子さんの
"20歳"

絵画 草村慶子さん (湯山)
書道 山岸市松さん (新山)

第九回の東頸城郡美術展覧会が、十月十二日〜十四日までの三日間、松代町総合体育館で開催され、絵画、書道、写真・彫塑、工芸の四部門に一六四点の応募がありました。出品された作品の中より各部門ごとに郡展賞一点、奨励賞三点が選ばれましたが、松之山から出品された中から数多くの入賞作品が生まれました。

まず、五五点の応募があった絵画部門で、湯山の草村慶子さんの「二〇歳」という作品が郡展賞に輝きました。草村さんは過去五年連続奨励賞を受賞するなど、大変活躍しています。また、湯之島の山口清治さんの作品「松之山春宵」が奨励賞を受賞しました。お二人の作品とも大変見応えのある大作です。

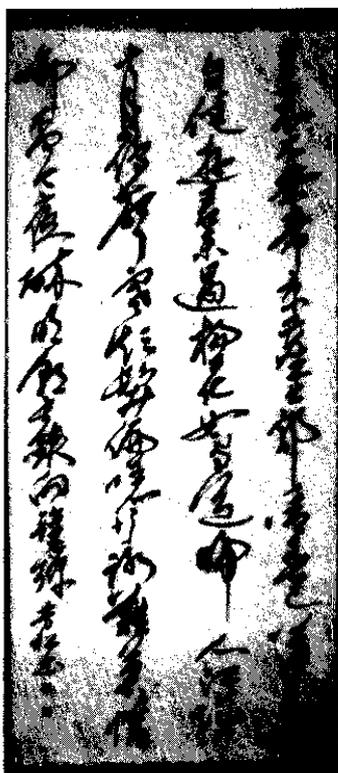
二四点の応募があった書道部門では、新山の山岸市松さんの「馮琦の詩」という作品が、郡展賞に輝きました。ま

た、北浦田の早川定雄さんと天水越の高橋トメさんの書が、それぞれ奨励賞となりました。入賞された皆さん、おめでとうございます。

なお、彫塑・工芸、写真部門では、残念ながら松之山の入賞者がいませんでした。全体を通してみると、松之

山の芸術レベルの高さを再認識させてくれた郡展だったと思います。また来年に向け製作に励んでください。

▽絵画部門奨励賞
山口清治さん (湯之島)
▽書道部門奨励賞
高橋トメさん (天水島)
早川定雄さん (北浦田)



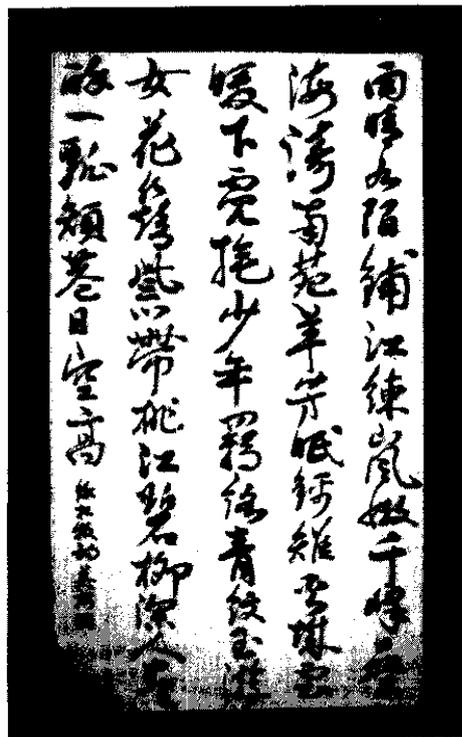
書道の部 郡展賞
山岸市松さん (新山)
"馮琦の詩、"



写真の部 郡展賞
"アカチシオタケ、"
大島村横尾善朗さん

書道の部 奨励賞

漢詩 高橋トメさん(天水越)



十一月は
雇用保険

「さわやか受給」

推進月間

雇用保険の失業給付は、離職し、働く意志、能力がありながら、まだ仕事が見つからないときに再就職のお手伝いをすることを目的として支給されるものです。したがって、就職または就労した場合は支給を受けられません。

就職、アルバイト、パート等で働いた場合は、正しく申告してください。正しく申告せずに不正に受給した場合は、厳しい処分をうけます。

この機会に雇用保険制度を正しく理解し、不正受給をなくしましょう。

上越公共職業安定所より

新潟県の最低賃金

時間額 499円

日額

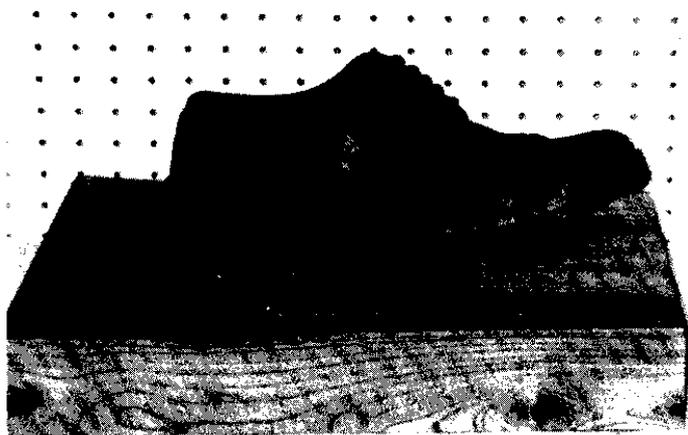
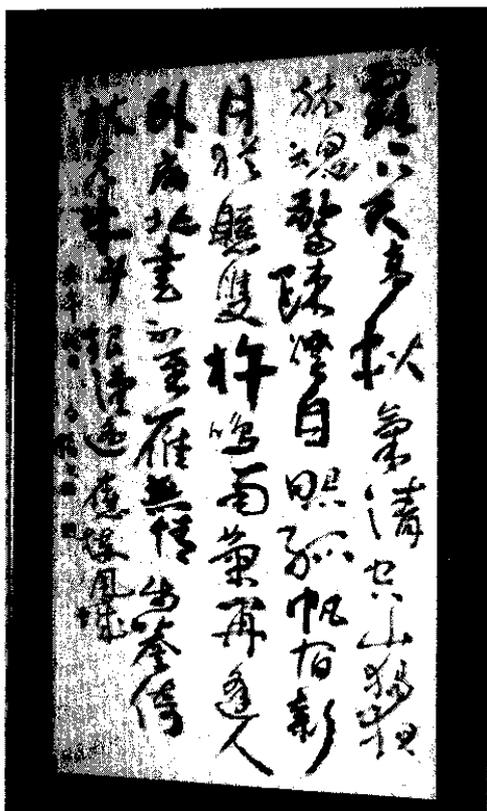
3,988円

となりました。



絵画の部 奨励賞「松之山春宵、山口清治さん(湯之島)

書道の部 奨励賞 杜甫詩 早川定雄さん(北浦田)



彫塑・工芸の部 郡展賞
くつとはっさく、松代町山岸 統さん

10月 フォト ニュース

1 みんなで走った第9回健康マラソン

幼児から大人まで参加して楽しく走って健康づくり。今年で第九回目となる「健康マラソン」が田駅伝大会終了後に行われ、二歳の幼児から年配の方まで三七〇人が参加しました。

一キロ・二キロの二コースに分かれての健康マラソン、家族連れで和気あいあいとする人、記録に挑戦して一生懸命走る人と様々でしたが、参加された皆さんは「体育の日」に気持ちの良い汗を流したことと思います。次回も是非参加してください。



お父さん、お母さんも子供たちに引ばられてガンバりました。

2 大好評だった大蔵寺高原の「きのこ狩り大会」

十月十日の体育の日、大蔵寺高原で恒例の「きのこ狩り大会」が行われ、県内の方を中心に二二五名が参加しました。

参加者の皆さんは受付を済ませると、早速キャンプ場周辺の山に入り、約二時間ほどきのこ狩りを楽しみました。

皆さんが採って来たきのこは、松之山の滝沢博さんが鑑定にあたり、食用・無毒・有毒の三種類に分類することも、きのこの名前と食べ方を参加者に教えていました。

この日参加された方たちの多くは、きのこ狩りは初めてという事で、せっかく採って来たきのこが全部毒きのこという人もいて、ガッカリする姿も見られました。

このきのこ狩りで確認された種類は一〇三種で、主に採れたのはナラタケ・シメジ類・イブチ類でした。

一行はこの後、きのこ料理の昼食をとり、再び滝沢先生からきのこの見分け方や料理方法の講習を受けました。



食用、有毒というように分類された「きのこ」を見学する参加者



鑑定作業に忙がしい滝沢博さん（左から二人目）



従業員の皆さんも屋内
消火栓を使って放水訓練



午前9時半、浦田「ゆのしま荘」の非常
ベルを合図に訓練開始

3「ゆのしま荘から火災発生!!」秋の防火週間

十月二十八日から始まった「秋の防火週間」。町では期間中に火災予防訓練や機械の点検・消防施設の立入り検査などを行い、非常事態に備えて万全の体制を整えました。

初日の二十六日、浦田「ゆのしま荘」から火災が発生したという想定で訓練が行われ、分遣所・本部機動隊・地元第八分団の積載車が出勤して消火作業にあたりました。

また、ゆのしま荘では従業員の避難訓練と屋内消火栓カ

らの放水も同時に実施され、本番さながらの訓練ぶりでした。

一方、救急訓練の面では、従業員一名が煙にまかれて逃げ遅れたと想定し、分遣所員が中に入って救出することも救急車を出勤させ、救助にあたりました。

あつてはならない火災や事故、日頃の訓練を大切に、火事を出さない努力をみんなで行きましょう。

4 美人林に駐車場とトイレが完成

美しいブナ林で知られ、近年多くの方が見学に訪れるようになった松口の美人林の入口付近に、この程、駐車場ときれいなトイレが完成し、皆さんに喜ばれています。

美人林は樹齢六七十年のブナ林で、春、残雪の中で芽ぶく若葉の緑や、秋の紅葉は大変美しく、何度も足を運

ぶ方が沢山いるようです。ここはまた野鳥の宝庫で、毎年春に、町主催の探鳥会が開催されています。

ここには今まで簡易トイレがあつたばかりで駐車場もなく、そばに畑や田んぼを持っている方に、たびたび迷惑をかけていたので、整備されて本当に良かったと思います。



松口美人林入口に新しく建てられた
トイレと駐車場



ケガ人を想定して救急車も出勤

5 森光慶先生を招いて『家持楊枝』講習会

町特産の一つに育てようといふ力を入れていた黒文字の木を使った楊枝作り講習会が、十月三十日役場で開かれました。『家持楊枝』と名付けられたこの楊枝、材料が漢方薬にも使われる黒文字だけに大変臭いが良く、殺菌効果もあるといふ事で需要の方は次山あるのですが、製作が追いつかない状態です。そこで一人で

も多くの方から作っていたことと、千葉県若津市に住んでおられる森光慶先生を講師に招いて、講習会を行いました。

この日は町内から十三名が集まり、丸一日森先生夫妻から細かい指導を受けました。一つでも多くの特産を作り出そうと町では考えておりますので、ご協力願います。



千葉県の無形文化財に指定されている森先生
(右から二人目)



6 みんなすごく上手でした

町内小・中学校芸能発表会

毎年、町芸能祭の習日に開催している町内小中学生芸能発表会。今年も二十九日の午後、町民体育館で行われました。

この日のために各学校で練習して来た歌や楽器演奏、劇などを発表しあい、共に鑑賞しあつ場として続けられているこの芸能発表会、町内各学校の芸能部の先生が中心となつて進められています。

毎回どこかの学校が演劇を発表してくれますが、今回は松里小学校の児童が地元によくから伝えられる『管領塚物語』を取り上げ、立派に演じてくれました。この劇は前回の町芸能祭でも披露され、盛んな声援を受けたものです。演出・踊りと小学生では難しい役を見事にこなし、長い間練習した成果が良く表現されていたと思います。



松之山小学校の全児童による合唱



上杉房義が妻と娘を連れて天水越に逃げのびる。
右は管領塚物語を踊る松里小学校の皆さん。

「松之山町名老百選」

14名を新たに認定！

町では二年前に村山町長の発案で、町内に住む七十歳以上の方々の中で仕事や趣味、特に優れた技術等を持っておられる方たちを選出して、町の名老になっていただきました。このときは二十七名の方を認定した訳ですが、その後数名の方が他界されています。今年、第二次の名老を認定するため各老人クラブから推

選をいただきました。その後、名老百選認定委員会を開き、新たに十四名の名老を認定することを決定しました。新しく認定された十四名の方の認証式は、十月二十八日の農業祭の中で行われ、町長によって認証状が贈られました。今回新たに名老に選ばれた方は、次の十四名です。

- 高沢義勇(大荒戸) 八四歳 奇木作り
- 志賀重太郎(松口) 七四歳 わら工品
- 保坂武雄(松口) 七一歳 短歌
- 村山ステヲ(橋詰) 七七歳 和裁(歌舞伎の衣装縫)
- 高橋幸作(天水島) 七三歳 仲人
- 山口トメ(藤倉) 九三歳 芋績
- 樋口義治(中尾) 七九歳 地域に貢献
- 小野塚熊男(上鍛池) 七九歳 山採り盆栽
- 久保田秀五郎(藤原) 八一歳 写真
- 久保田年松(新田) 七九歳 わら工品
- 久保田達司(新田) 七三歳 歴史・風土
- 竹内平八郎(湯之島) 七六歳 農業技術
- 佐藤彦平(坂中) 八二歳 ゲートボール審判員
- 竹内与志(豊田) 八七歳 芋績

(敬称略)



10月28日、共励会に引き続き行われた名老百選の認証式
14名認定されたのですが、4名の方が都合で欠席され、この日は10名でした。

国際交流作文コンクール

木村律子先生が
最優秀賞を受賞!

木村律子先生

このほど、新潟県が推進している、各国や県内に在住している外国人の方々と国際交流事業の一環として、広く県民から募集した「国際交流作文コンクール」で、松之山で英語教育の講師をお願いしている木村律子先生の作品が、大学生・一般の部で見事最優秀賞に選ばれました。おめでとうございます。

木村先生の作品は、大阪に住んでいた頃の経験をもとに書かれたもので、普通の友達、思いやりの気持ちで接するのが大切と訴えています。読んで見てください。

「着物きてお花見に行けへんか？」

そうすれば相手の喜ぶことがわかるのです。

今、いろんな分野で国際理解、国際交流と叫ばれています。これは世界が狭くなり、人類皆兄弟という考えが重視されてきたからでしょう。そこで私たち個人は一体何をすれば良いのでしょうか。答えは簡単です。「相手の立場になって考えてあげること。」

私は大阪に住んでいた時、韓国から自費留学していた文恵榮という友人がいました。恵榮は豊かな家庭に育ち私立の大学に通っていましたが、将来性を考えて日本語を話せるようになりたいと思い、大学を休学して親の反対も押し切って大阪まで来たのでした。日本語学校に通うかたわら、

ワンピースも学ぶ、着実に前進しようとしていた彼女に、世間はずっとも厳しかったのです。「ああ、また不法労働者の小娘か……」

「結局は日本でバイトをして稼ぎたいのだから」

親に仕送りの負担をかけたくないという一心で始めた工場での手作業も、周囲には不法労働者にしか写らなかつたのです。

私たちが初めて出会った時は、彼女があと三カ月が帰国するという時でした。夢と希望に燃えていたはずの日本留学で、心までズタズタに疲れていたようでした。私も昔、アメリカに留学していたので、異国で悲しい思いをするのはどれだけ孤独でやりきれないものかが良くわかつたのです。なんとかして良い思い出を作つて帰国してもらいたい……彼女のために……そして日本のために……私はいろいろ考えました。

幸いお互いの家が近かつたので、それ以後は頻繁に行き来するようになり、父を亡くして寂しかった我が家も新しい妹を大歓迎しました。もちろん客としてではなく一人の家族として。

春が来て桜が開き始めた頃、私たちは花見を計画しました。ただ行くだけならおもしろくない、何か日本でしかできない

いことがしたい。(私が恵榮ならどうしたいだろう……)どこの国の生まれであれ彼女は女、きれいなものには憧れるはずだと思い、「日本の着物を着て大阪城のお花見に行けへんか？」と聞くと、案の定彼女は大喜び。

小晴日和のある日曜日、汗をかきかきやつと着せてもらった純日本風娘が二人花見に出かけました。どうせならBGMもということで小さなラジカセで音楽を流しながら広い城内を歩きました。私たちは桜を楽しみ、周囲の花見客は私たちを見て楽しみました。

うれし恥かしの思い出をたくさん残して彼女は母国に戻つて行きました。今は手紙のやりとりですが、今度は私が韓国に行つてチョゴリ姿でキムチを買いに行く番だと話し合っています。

私にとって国際交流とは決して特別でなく、「普通の友達」になること、相手が何を思い、何を求めているかを考え、思いやりの気持ちで接することだと思えます。

第一回 ナイター野球

優勝はコンゴーズ

町民グラウンドが整備されナイター（照明）施設も完成し、野球愛好者にとつては待ちに待った夜の試合が楽しめるようになりました。

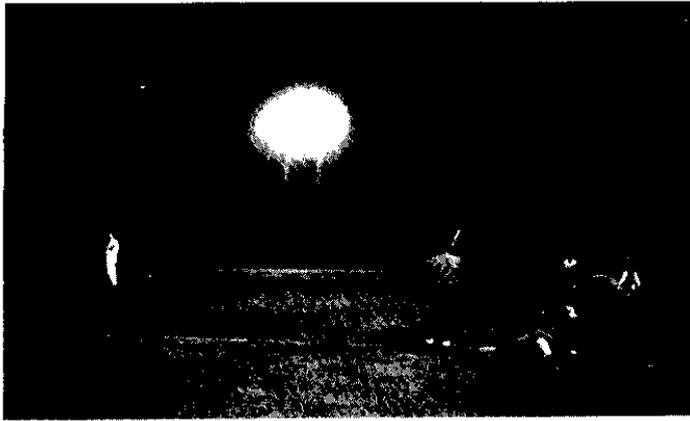
町野球連盟では早速秋のトーナメント戦の出場チームを募集、十一チームが参加してくれる事になり、点灯式が行われた九月五日から開幕しま

した。

参加した各チームの皆さんはナイター経験がほとんどなく、フライを落したり、なんでもないゴロをエラーしたりと、珍プレーが続出する試合が大半でした。

この第一回のナイターで優勝したのは「コンゴーズ」チームでした。コンゴーズは郵便局を中心に教員

ナイター決勝戦、コンゴーズ対高橋組

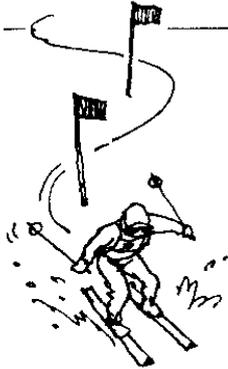


や野球好きの人達が集まったチームで、各試合すべて逆転勝ちという後半に強いチームです。準優勝は高橋組チームでした。朝はダメだけど夜なら！という方は、来年からは是非仲間になつて下さい。

小野塚和生男 (松高三年) フランスでスキー

県スキー連盟では、県内アルペンスキー選手の技術力向上を目指して海外合宿を行う事になり、その遠征メンバーの一員に、小野塚和生君（中坪・親家）安高松之山分校三年生が選ばれました。また、コーチとして柳一成さん（湯本・千歳館）がチームに同行し、選手の指導にあたる事になりました。

この合宿は、十一月九日より十七日間、フランスのティニーヌとバトランスの二カ所のスキー場で行われ、三十日に帰国するそうです。



文芸欄

短歌

安吾碑を木の葉一枚すべり落つ

かすかな音は秋の声かも

木漏日の差して明るい安吾碑を

見守るなかくて酒ふり注ぐ

遠方より集ふひとびと安吾祭

地下の安吾は知るやしらづや

小谷 鈴木俊一（栄屋）

俳句

稲掛けの髪とて小さく結び出でし

稲掛けの手拭い固く髪包み

肌寒く季節を心して旅に

観音寺 村山三二（金田屋）

肌寒の即売場に人の列

新米で餅つく音もこちよく

秋惜む芸能祭にゴザ温み

橋詰 村山靖鈴（隠居）

土塊と間違ふ芋子探し居り

虹が環を北にかかげて雪近し

羽目板の音して寺院静破る

古戸 村山光城（森下）

三千代夫人も参加して

第3回 坂口安吾まつり



安吾が生前大好きだったお酒を
碑に注いで冥福をいのる

文豪坂口安吾の文学碑が建立された翌年から行われている「安吾まつり」。今年で三回目を迎え、十月二十日に全国の安吾ファンが集まって、盛大に開催されました。

今回の安吾まつりには、坂口安吾の奥さん三千代夫人と、作家石川淳さんの奥さんが揃って出席されたほか、安吾にゆかりのある方、また熱烈なファンの方たちなど一〇五名の方々が参加、ありし日の坂口安吾を偲びました。

二十日の午後三時にセンターに集合された皆さんは、まず松之山小学校前に建立されている文学碑を見学、生前安吾が大好きだったお酒を碑にかけて供養した後、全員で大



大棟山博物館の安吾の部屋で物思いにふける若い女性

棟山博物館へ向かいました。博物館では安吾の部屋が一番気にいったという人が多く、床に座って物思いにふける若い女性ファンの姿が印象的でした。

再び休養村センターに戻り、地酒とキノコ汁、コシヒカリのおにぎりでパーティが開かれ、坂口三千代夫人を囲んでのぎやかなひとときを過ごしました。席上、三千代夫人は「これまで何回かお誘いをい

ただいたが来れなかった。今月初めて文学碑を拝見し、大変立派なのに驚いた。拝見出来て本当に良かったと思う。」と、感謝の言葉を述べられました。

この日参加された中には遠く愛知県や広島県の方もおりました。また坂口夫人や石川夫人に会えた事に大感激された方がほとんどのようで、夫人の囲りにはいつも大勢のフ



パーティーに出席された三千代夫人（中央）と石川 淳 夫人（右側）

アンが集まっていました。

翌日は全員で大蔵寺高原の紅葉を見学、その後、露天風呂と美人林散策の二つのコースに分かれて、松之山の秋を十分満喫していただき、昼食には名物の手打ちそばを味わってもらいました。

午後一時過ぎ、「また来年も是非来たい。」という言葉を残して、それぞれ解散して行きました。

松之山の

シダ植物

No. 41

松之山町にはおよそ四十種類のシダ植物が生育しています。シダ植物は花の咲かない日陰の植物として一般の人にはなじみの少ない植物かも知れませんが、ワラビやゼンマイなどは山菜としてよく知られていますし、意外に身近な所で色々なシダ植物を見ることが出来ます。

シダ植物は胞子が芽を出すと前葉体と呼ばれる一センチたらずの緑色でハート型をした小さな体を作ります。この前葉体に卵と精子が作られ、受精して幼植物ができ、それが大きくなると普通見るシダの体になり、その葉の裏にまた胞子をつけます。このようなシダの繁殖には、林床や崖の窪みなど湿った場所が必要になります。また、比較的暗いところでも生育できるものが多いため森林の代表的な下草の一つになっています。

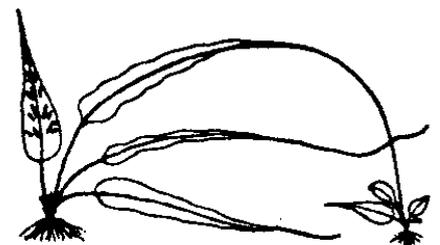
そこで、シダ植物の種類数がある地域の植物全体の種類数に占める割合をシダ率と言つて、その地域の森林度の指標とされることがあります。一般に北国にほど植物の種類数は少なくなり、かわりに個体数が多くなる傾向がありますが、松之山町全体に占める林の割合から見ると、シダ植物の種類数は少なく、また大きな群落もほとんど見られません。

この原因は、山地の起伏が緩やかで、シダの生育に適した谷がほとんどなく、針葉樹の林が杉林以外に無く、針葉樹林帯に生育する種類が少ない、多雪の影響で着生シダがほとんど見られない、崖や傾斜地を好むシダにとつて、岩の崖が少なく、雪崩崩壊によつて安定した崖がない、などによるものと思われまふ。

松之山町内で最も普通に見られるシダ植物は、スギナ（胞子を付ける茎がツクシ）、ゼンマイ、ワラビ、クサソテツ（コゴミ）、ヒメシダ、ミゾシダ、ヘビノネゴザ、ヤマイヌワラビ、イヌワラビなど、路傍、林の縁、草原のようなところに見られるものが多く、クジャクシダ、ヤマソテツ、サトメシダ、シシガメシラなど、林床や林縁の傾斜地など

に生育する種類はそれほど多くありません。

森林生のシダとしては、サカゲイノデ、ジュウモンシダ、シノブカグマ、リョウメシダ、ナライシダ、ミヤマベニシダ、オシダ、オクマワラビ、ミヤマシケシダ、ミヤマシシガラシなどが林の中に見られますが、その生育場所は限られており、大きな群落はほとんどありません。この中で比較的珍しいのは、ミヤマシシガラシがそれより低地に分布するシシガラシと同じところに混生してみれることです。また、イワガネソウ、ツルデンダ、ヤマヤブソテツ、クモノスシダ、エゾデンダ、

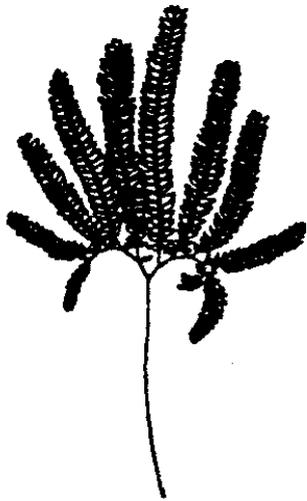


クモノスシダ

サンショウウモなど、周辺地域では必ずしも珍しいシダではありませんが、松之山町域内では極く限られた場所だけに生育する貴重な種類もあります。また、周辺地域に生育の見られる種類で、松之山にも生育の可能性の高いシダがかなりありますが、今回の調査では発見できませんでした。

シダは目立たない地味な植物ですが、良く見るとなかなか風情があり、色、形、芽立ちの様子など実に様々です。豊かな松之山の緑の一員として、たまにはシダにも目をむけてやってください。

文責 上越教育大学
大悟法 滋



クジャクシダ

婦人会コーナー

町農業祭

婦人会も「頑張りました」

伝えていきたいわが家の味と香りの料理コンクールに、四六品目が出揃った。日頃の腕前に更に磨きをかけたこの味、ちよつと摘んでみると、さすがは自慢料理、美味さ抜群!! 「みんないい、この中から十点を選ぶなんてむずかしいし、辛いよね」は東頸普及所関沢指導員、他審査員も同じ気持ち、苦心と熱意の素晴らしい味自慢を出品して下さった方々に心から感謝申し上げます。

また、役員の皆さんには前日から、そば打ち、あんぼ作りに奮闘いただいたり、当日は早朝よりそれぞれの役割に活躍願いました。数は総員七〇名、今年都合で連合婦人会を休んでいる部落からも応援にかけつけてもらい、町内全部落の婦人の活力が一つになつて働きました。皆さんが我が松之山町が大好きだし、ほんとうに大事だから頑張りました。



46品が出品されたわが家の味と香り展。どれも美味しい!



現在60名程の参加者がいるエアロビクスダンス「恥ずかしい!」という声があちこちから。

新しい風を心地よく感じて

「ポップコーンのエアロビクスダンス」

文化協会の芸能発表会のお仲間に入れてもらいましたダンスの発表は、ポップコーンの皆さんは勿論、だんなさん方もかけつけて、緊張しながらカメラを構えておられましたよ。
エアロビクスダンスは健康づくりにはいい汗を流しました。そして、婦人たちが同じ目的に向って躍る・燃える・輝く、

そんなはじける若さが、これからの松之山町を明るくして行つてくれる。最高にいい仲間が誕生しました。
冬期間も続けたいのですが雪の夜道は車の危険がいつぱい。ここは先ず用心! 十一月いっぱい婦人教室を閉じて、新しい年に期待しましょう。

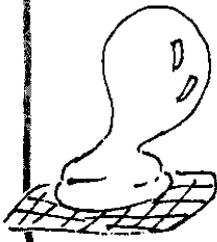
拍手

「もち米一握り・
タオル一本運動」
にご協力ください

町婦人会のボランティア活動の柱であり、先輩諸姉から受け継がれてきた恒例のもち米一握り運動、今年が三二回目を数え、これは、松之山町から離れて県内の施設で正月を迎える人たちに贈り続けて来ましたが「助けあいの運動」です。

今年も婦人会役員が回りまわすので、町内のご家庭から汗水の結晶を一握りご協力をお願い致します。

「十一月二十六日牛乳パック回収日」に、同じ場所でも回収荷させていただきます。



牛乳パックのリサイクル

「紙すき」に挑戦

農業祭に見ていただこうと、町役員は小見美晴さんをリーダーにして手づくり郵便ハガキに挑戦しました。

農業祭当日はセンターの廊下

下に展示しましたが、大変混みあっている中でお目に止まりましたでしょうか？

中には売って欲しいとの声もかきまして、関係役員を喜ばせてくれました。

手づくりは人手がかかりますが、もっと上手になつて是非買つていただき、活動資金にできればいいなどと考えています。

今回のパック回収量は、二一六キロでした。ご協力ありがとうございました。

なお、十一月の回収は、二十六日の月曜日に行います。



農業祭に展示された牛乳パックで作った手製ハガキ。見ていただけましたか？

お知らせ
11月の料理教室

十一月二十二日、夜六時三〇分、公民館調理室にて、講師は町役員。メニューの方は検討中です。出来上った料理で夕食会をしながら最終の楽しい交流を計画しております。参加希望者は、二十日までに公民館まで連絡してください。

国民健康保険・国民年金

出稼ぎに行かれる方は 異動手続きを忘れずに！

社会保険に加入したら
証明書を送ってください

出稼ぎの時期がやって来ましたが、出られる方も残る家族の方も、一番心配なのが健康です。そこで手続きだけはしっかり済ませて、安心して働いてほしいと思います。

出稼ぎで社会保険等職場の健康保険に加入する人は、出稼ぎに出る前に役場国保係から、社会保険加入証明書の用紙をもらい、会社から証明を受けて出来るだけ早く役場に送ってください。

この証明書が届くと、あなたの家庭に連絡して国民健康保険証は役場へ返してもらい

ます。この手続きが遅れますと、医療機関の請求がタブツたり、トラブルのもとになりますので、注意してください。

もう一枚の保険証

保険証は、一世帯一枚が原則ですが、出稼ぎや長期の旅行・修学などのときは一枚の保険証では間に合いません。こういう場合に限り、もう一枚特別の保険証を受けることが出来ます。

出稼ぎで会社の社会保険に加入しない人は、この特別な保険証をお持ちください。

国民年金

現在国民年金を納めている方が出稼ぎ先で厚生年金に加入すると第二号被保険者となり、その夫に扶養されている奥さんは今まで年金保険料を納めていましたが、第三号被保険者となり保険料は納めなくても良くなります。

しかし、加入・喪失の手続きをきちんとしないと、納め過ぎたり足りなかったりしますので、くれぐれも注意してください。

何でも 質問コーナー

皆さんからのお便りをお待ちしています。
役場議会事務局まで

私の勤めている工場は大変忙がしく、製品を間に合わせるために夜の11時・12時になります。
女子の深夜労働について教えてください。
(議会事務局提案)

年間の規制	規制の種類	単位	規制の時間
一年	左のうちいずれか	週を単位とする規制	六時間以上 二二時間以下の範囲内の一定時間 二二時間以上 二二時間以下の範囲内の一定時間 二四時間以上 二四時間以下の範囲内の一定時間 二六時間以上 二六時間以下の範囲内の一定時間 二八時間以上 二八時間以下の範囲内の一定時間 三六時間以上 三六時間以下の範囲内の一定時間 四八時間以上 四八時間以下の範囲内の一定時間
一五〇時間以上三〇〇時間以下の範囲内の一定時間			

お答えします。労働者の安全または賃金を保障・管理する法律に、労働基準法があります。それによりますと、女子労働者の時間外労働については次のようになっていきます。

一、工業的業種の事業に従事する女子労働者

○製造業・鉱業・土木・建築業工業的業種の事業に従事する満十八歳以上の女子労働者については、一週については六時間以上、一年については百五十時間以上労働させてはいけないことになっております。

二、非工業的業種の事業に従事する女子労働者

○非工業的業種の事業に従事する満十八歳以上の女子労働者については、週又は年を単位として、次表のような範囲が規定されています。

◎深夜労働が認められる場合

女子の深夜労働は、原則として禁止されておりますが、女子の健康及び福祉に有害でない業種については、例外的に認められており、また男女雇用均等法の制定に伴い従来規制が多少緩和され、次の事業に従事する女子に深夜労働が認められています。

○農林畜産水産業、保健衛生の事業、旅館飲食接客娯楽の事業、電話の事業。

歯の用心一口メモ

アフター（口内炎）について

今回は口の中にできるとも痛い、口内炎について原因と治療法を考えてみましょう。

口内炎にも色々ありますが、いちばん多く見られるのは歯肉口内炎と壊死性潰瘍性歯肉炎のふたつです。

歯肉口内炎は、一歳半から六歳くらいまでの幼児が特にかかりやすく、時には成人も

○スチューワーズ・映画の製作関係者・旅送等に関係する人。その他。

以上のように、ごく一部の職種にしか深夜労働が許されていない事になります。

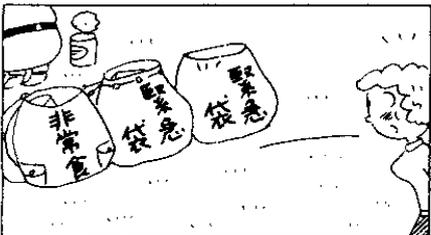
かかりますが、これは薄い粘膜の小水泡が破れたためにできたもので、口の中にポツン、ポツンと現われるのが特長で、症状としては発熱、歯肉の腫れ、時には顔や体にも現われることがあります。

問題なのは大人のかかる壊死性潰瘍性歯肉炎症で、経験のある方も多いと思えますが、カゼにかかった時、過度の疲労などの後にできることが多く、水やお湯、しょっぱいものにしみたりして非常に不愉快なもので、ひどくなると食事も出来ません。

大体二週間位でなおりますが、治療としては、栄養を補給して体力の回復を待つしかありませんでしたが、最近ソフトレーザーなる機器が出来ましたので、患者さんにとっては非常に朗報です。このソフトレーザーとは、一分くらい口内炎にあてるだけで痛みがとれ、また、なおりがとっても早くなります。

レーザーは痛くもなんともないので、口内炎にかかったら一度歯医者さんに行ってみたらいいと思います。

おかわりか
君
西村宗



赤い羽根募金

共同募金

愛ちゃん と 希望くん

戸籍の窓

あめでた (出生) (生年月日)
 千佳ちゃん 高橋 勉さんの二女 (天水島) 2・9・28
 和幸ちゃん 南雲 武さんの長男 (松之山) 2・10・19

あくやみ (死亡) (死亡年月日)
 津端 ヨネさん 64歳 (光 間) 金塚 2・9・30
 竹内 フジさん 90歳 (湯之島) 大した 2・10・8
 小野塚 サツさん 84歳 (東 川) 向 2・10・8
 山岸 シチさん 83歳 (新 山) 南 2・10・10
 高橋 スミさん 94歳 (中 尾) 中屋敷 2・10・10
 小野塚 ユキさん 78歳 (上 鍛池) 中村 2・10・20
 山岸 進さん 50歳 (新 山) 貢屋 2・10・21
 佐藤 彦市さん 78歳 (曾 根) 松屋 2・10・22
 相田 新一郎さん 63歳 (大 荒戸) 秋田屋 2・10・26
 相田 弥吉さん 94歳 (大 荒戸) 中屋敷 2・10・30

※10月1日から31日までの届出分です。

詰碁
 有段をめざして

10月号の答え

黒先生き (3手まで)

五
四
三
二
一

イロハニホヘトチリヌ

◎二子を助けないことには、白を殺すことはできません。初手はともかく3手目でわかったでしょうか。黒1とハウのは誰でも打てる。しかし、白2に黒3とサガる手は、ちよつと盲点かも知れません。

正解者
 若井千代松さん (小 谷)
 村山 伸さん (湯 本)
 久保田光栄さん (天水島)

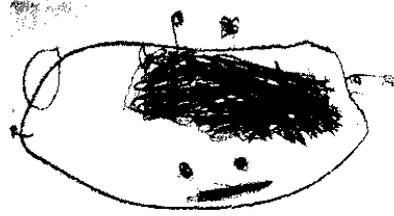
詰碁の解答を募集しています。11月26日までにハガキなどで広報担当まで。正解者には粗品を進呈。



こうようのおおきな木



まっかなはっぱのおおきな木



いたずらガンガンがおもちゃをすてようとしているところ



たきざわだいすけくん
(天水越 家の向)



さとうちほさん
(天水越 中村屋)



たかはしかずたかくん
(天水島 彦六)

こよみ

- 21日 議会議事録
- 12日 議会議事録
- 9日 議会議事録
- 8日 議会議事録
- 3日 議会議事録
- ▼11月の予定
- 28日 農業祭・芸能祭
- 27日 錦鯉品評会・町美術展
- 20日 坂口安吾まつり
- 19日 消防分団長会議
- 16日 行政相談(センター)
- 15日 老人クラブ会長会議
- 12日 除雪会議
- 10日 町駅伝大会・健康マラソン・きのこ狩り大会
- 8日 名老百選選考委員会
- ▼10月のできごと
- 郡美術展覧会(松代町)
- 食推リーダー会議



11月1日～30日

Sマーク普及促進
月間

理容・美容・クリーニング店に掲げられているSマークは、厚生大臣認可の標準営業約款制度に従って営業しているお店のマークです

編集後記

秋の収穫作業も白菜・ダイコンなどを除いて、ほぼ終りに近づきました。今年にはカラカラ天気と台風の影響で、野菜類が大変高いんだそうです。皆さんの所は良く出来ましたか？

さて、十月は行事が沢山ありました。広報担当としてはありがたい悲鳴をあげています。そんなわけで発行が遅れてしまいました。

町の農業祭・芸能祭、皆さん行かれましたか。管領家物語も良かった。でも若い女しよのエアロビクスは、また良かったっけのお」と言う声も、あちこちから聞かれました。

十一月一日の人口

総人口／三、八六七(▲九)

男／一、八九二(▲二)

女／一、九七五(▲八)

世帯数／一、二八一(▲二)

()内は十月一日との比較 ▲は減

広報まつのやま十一月号

平成二年十一月十五日発行

発行／新潟県松之山町

☎六―三―三―

編集／議事事務局